



9月お彼岸を過ぎ、ようやく涼しさを空気に感じられる日が来ました。グリラ参観詐欺のような1週間。申し訳ございませんでした。気温が下がればグリラ参観も、運動会も行ないます。ぜひお時間を作ってお越しください。

臼井幼稚園には色んなお子さんが在籍しています。特別に支援の必要なお子さんが年々増えているのは、当園のことばかりでなく、他園の園長先生方もそうおっしゃっています。そしてここ10年くらいのことですが、クラスがなかなかまとまらない、というも頭を傾げて何故だろう？と不安視しているところです。

幼稚園の設置基準の第三条において、「1学級の幼児数は、35人以下を原則とする」と定められていて、臼井幼稚園については昨今30名を下回る人数です。さらに特別支援のお子さんのサポートのために各クラス最低1人は支援の先生が入っています。

先生がクラスの全員に話をしている時、「僕はね、」、「私は、」と自分の話をし始めてしまい、担任が話したくても進まないことがあるのです。その子に悪気はなく、先生との1対1の関係を求めてくるのです。でも、担任が話そうとしているのに「僕ね、」と始まったらどうでしょう。困った子、気になる子、とのレッテルを貼られてしまうこともあります。

どうしてこの子はこのタイミングで「先生、先生」と求めたのでしょうか。この答えとも言えるものを上原文先生の文章に見つけられたので、保護者の皆さまにも関係のあることですので、そのまま記載させていただきます。

以下、上野先生の文章より

人間はもともと「集団の中でつながり合って生きる動物」です。けれど他の動物とは違い、人間は、集団に入る前の段階がとても重要です。この段階で「個・自我の安定」を得ることが必要不可欠で、これがないと、集団にうまく入っていくことができません。

「ありのままを受け入れてもらえる」

この受容があつてこそ、心の奥底が安定します。記憶に残らないこの時期の対応が人間の一生を決めると言っても過言ではないのです。～中略～心の安定を得られないまま成長してしまった結果、様々な問題が起きてしまっている気がしてなりません。

女性の社会進出とともに、子どもを小さいうちから保育園などに預け、集団の中で育てる傾向があります。これはみなさんのせいではなく、社会の構造が、母となった女性も働かなくては生活していけない社会構造に問題があると私は思います。そしてもうひとつは、スマホです。赤ちゃんにお乳をあげながらスマホをいじったり、子どもに話しかけられているのに、上の空で返事をしたり、「あとで」「待って」と子どもが二の次になってしまう。

心も成長していくものです。そこを踏み外すと、次の段階に進めず、あとあとまで影響するそうです。目の前のお子さんの情緒の成長と安定のための「受容」を、ご両親も、私たち保育者もしっかりとしていく必要があると感じています。

子どもは、自分だけが受容されたいのです。「先生（パパ、ママ）が僕を見てくれている」という安心感は気持ちを安定させます。安定すると、周囲が見えてき、他の子を思いやれるのはそれからとなります。

小学校以降、学級崩壊、不登校、ひきこもりなどが社会問題化しています。虐待もあとを絶たず、増加傾向にあります。心の発達が未熟なまま身体だけ成長してしまった子ども達の出している、やるせないSOSに思えます。子ども達の心の安全基地となれるように、子育てを一緒に考えていきましょう。悩みがあれば、いつでもお話しください。

（参考：世界文化社 pripriより上原文 社会保険福祉士）

*佐倉市の美術展に昨年度出展してみましたが、園児の作品の中から数点選び出すのが心苦しいのと、どうみても保育者の手が入っている作品に金賞がついているのを見て、嫌悪感を抱いてしまい、今年度はまた出さないことにしました。

*毎年梨狩りにご協力くださっていた出山梨園様が、梨の栽培を今年より中止するとのこと。幼稚園児の梨狩りにご協力くださる梨園が見つからないので、今年度より 梨狩りは中止します。

園長 志田裕美子

<さくら組今月の目標>

健康・・運動会の種目に喜んで参加する。
人間関係・・自分のグループを覚える。
環境・・約束を守って遊ぶ。
言葉・・「ありがとう」「ごめんなさい」「貸して」
「いいよ」が言えるようにする。
造形・・壁面制作。
音楽・・「どんぐりころころ」「おへそ」
「やきいもグーチャーパー」「かわいいかくれんぼ」

更にパワーアップしたさくら組！これからたくさん
の行事や活動を通して見せてくれる成長に期待大です！
高橋 まりこ

<担任から今月のメッセージ>

あっという間の夏休み！そして2学期が始まりました。

久々の幼稚園に、「もしかしたら泣いてしまうかな？」
と思っていた子が、「おはよー！」と元気に笑顔で登園し、
「あのね、あのね」と夏休みの話をいっぱいしてくれる
姿に、4月からの成長を感じ、とても嬉しくなりました。
他のみんなも、一人が話し始めると
「せんせい！せんせい！」と、“先生聞いて！！コール”
が始まったので、
「一人ずつ教えてー！」と、思わず叫んでしまいました。
賑やかなさくら組が戻ってきて、たくさんパワーをもら
っている毎日です。

9月から新しく6人のお友だちが入りました！！
(なつねさん、りんさん、ひなたさん、みゆさん、
あかりさん、ふみかさん)
新しいお友だちは、慣れていない環境・友だち・先生に
少し不安そうな表情も見られましたが、1週間もすると
すぐ慣れて、みんなと歌を歌ったり、ニコニコ笑顔で体
操したり、朝の会で名前を呼ばれたら、元気に「はーい」
と手を上げ、カッコよく返事をしてタッチしにきてくれ
ます。

総勢13名となり、賑やかになったさくらさんです
が、、、朝登園し、おもちゃで遊んでいると泣き声！
「どうしたの？」と聞くと、
「おもちゃ取った、、、、」
と、遊んでいたおもちゃを取られてしまって泣いている
子が、、、、。新しいお友だちは、まだまだ幼稚園のルー
ルや集団生活に慣れておらず、何も言わずに他の子が使っ
ているおもちゃを取ってしまったのです。取ってしまった子
に

「お友だち、おもちゃ取られて悲しかったみたい。貸し
てって聞いてみよう！」
と伝えると、カッコよく「貸して！」と自分で伝え、
泣いてしまった子も、「貸して」の後すぐに「はい、どう
ぞ！」と、使っていたおもちゃを貸してくれました。
思わず私も「ありがとう！！！！」と、その子をぎゅっ
として、「貸して」が言えた子にも、「貸してって言えて
カッコよかったよ！！！！」ときゅっとしていたら、
みんなが
「“ぎゅー”する！」と集まり、「みんなでぎゅー
だ！！！！」と、笑顔のハグ大会になりました。

